大学院教育学研究科

所属・職位	大学院教育学研究科（教職大学院）・准教授	
氏名	藤村　晃成（Fujimura Kosei）	
取得学位	修士（ 教育学）， 広島大学，2016 年 3 月	
ＳＤＧｓ目標	4 質の高い教育をみんなに	

研究分野	教育社会学研
研究キーワード	フリースクール，オルタナティブスクール，不登校支援
研究内容	●オルタナティブな学びの場における実践知に関する研究 近年では学校外における「オルタナティブな学びの場」が多く設立されるようになった。フリースクールでは不登校の子どもを受け入れる居場所としての役割に限らず，スタッフの理念や子ども・若者のニーズに応じた多様な実践が展開されている。個々のフリースクールにおける実践がどのようなプロセス・葛藤を経ながら行われているのか，学校教育との関係をスタッフや利用者はどのように捉えているのか，といった点をフィールドワークに基づきながら探究している。 ●フリースクールから社会への移行プロセスに関する研究 不登校支援における進路形成や社会的自立の重要性が着目されているが，フリースクールから社会への移行について考える上では，学校的なメリトクラシーの概念に基づく「規範的・標準的な移行プロセス」を前提にするのではなく，当事者の視点から移行経験や意味づけを捉えていくことが不可欠である。フリースクール卒業生へのインタビューと追跡調査を通して，フリースクールから社会への移行プロセスをめぐる課題を描き出していきたい。 ●オルタナティブな学びの場の連携・ネットワークに関する研究 フリースクールをはじめとしたオルタナティブな学びの場において，他の団体や学校・行政といった外部アクターとの連携が積極的に試みられるようになっている。複数のフリースクールやオルタナティブスクールが協働して運営している中間支援組織の事例に着目しながら，その実態や機能に関する調査研究を行っている。
研究業績・アピールポイント	●論文 1. 2021年，藤村晃成・内田康弘・伊藤秀樹「『オルタナティブな学びの場』からみた新型コロナ問題 ーオンライン活用による不登校支援の可能性と限界」『子ども社会研究』第27号，pp. 89-103。 2. 2019年，藤村晃成「若者の移行研究からみるフリースクール研究の課題」『教育学研究紀要（CD-ROM版）』第65巻，pp. 411-414. 3. 2018年，藤村晃成「フリースクールからの大学進学をめぐるジレンマ： 大学進学がもたらす光と影」『子ども社会研究』第24号，pp. 115-132。 ●受賞 1. 2019年，研究奨励賞（日本子ども社会学会）